

きぬた



2024年6月3日
社会福祉法人多摩福祉会 砧保育園
世田谷区祖師谷4-3-17
03-3483-1950

でんでんむしでむし でなかまぶちわろ



(わらべうた)

心が動くような豊かな生活を

「先生、生まれてる〜!!」 朝から感動の声が聞こえてきました。事務室で副園長が大切に育てていたアゲハ蝶が、ついに蛹から羽化したのです!子どもたちはもう大興奮!友だちや大人にもその感動を一生懸命伝えていました。その姿を微笑ましく見守らせていただきました。

先日、職員会議で、「法人として『わたしたちのめざすもの』を作ったけど、そこにつながるような、自分たちがどういう園にしたいかを出しあって『砧保育園がめざすもの』を考えよう」という話をしました。そこで出てきた一つの意見として、「子どもも大人も心が動く日々を過ごしたい」ということがありました。すごく素敵だな〜と感じたと同時に、今回のアゲハのエピソードはまさに「心が動く」体験だったな〜と感じました。

よくよく考えると、この体験が生まれるためには様々な要素があります。家でアゲハを見つけ、手間はかかるけど無事に育てあげた時の喜びを体験させてあげたいと願う大人がいたこと。その思いに共感する大人がいたこと。虫が大好きな子ども集団が育っていること。飼育する体験を異年齢生活で毎年積み重ねてきたこと。すぐに見られる図鑑が保育室にあること。図鑑で調べれば飼いが分かるということを知っていること。「どうなっていくんだろう?」という知的好奇心が育っていること。生命は大切に扱わないとすぐに失われてしまうということ、体験を通して知っていること。お世話する喜びを知っていること。じっくり観察する時間が保障されていること。そして羽化した時の喜びを共感してくれる友だちや大人がいること。

もし、見つけた時点で大人が「虫は苦手だから飼うのは嫌だな...」と思ったとしたら、この体験は一瞬で終わってしまったでしょう。見つけた瞬間は心が動いたことには変わりはありません。でも、「心が動く日々」にはなっていなかったかもしれません。これも一つの「保育の質」と言えるのだと思います。保育士は「人的環境」です。子どもたちに最も影響を与える環境です。子どもが何かに新たな何かに出会った時、振り返って大人の反応を見ます。「これはどういうものなんだろう?」と窺うのです。そこで拒絶反応をすると、子どもは慌てて手を離したりすることもあります。反対に、大人が嬉しそうな反応をすることを確認すると、一気に安心して笑顔になったりします。それを分かっているので、子どもたちが虫に「気持ち悪い」と先入観を持ってしまわないよう、演じている職員もいるはずですが、それもプロ意識であり、「保育の質」だと考えています。そのような職員がいてくれることが誇らしいです。これからも「どうすれば子どもたちの心が動くかな?」と、ワクワクと心を動かしながら考える園でありたいです。

<6月の予定>※状況により変更あり。

- 3日(月) プール開き
- 6日(木) 0歳児健診
- 7日(金) 造形
- 11日(火) きぬたん(園庭遊び)
- 12日(水) 異文化交流
- 13日(木) にじのおうち懇談会
- 18日(火) わらべうた(乳児)
1, 2歳児面談(～7/12)
- 19日(水) お泊り懇談会
- 20日(木) きぬたん(赤ちゃん広場)
- 21日(金) 造形
- 25日(火) 誕生会・きぬたん(水遊び)
- 26日(水) きぬたん(モグモグ離乳食)
- 27日(木) 避難訓練(延長保育)
歯科健診

〈砧保育園を希望された理由について、アンケートを実施させていただきます!〉

縁あって砧保育園に入園してきてくださった皆さん。改めてありがとうございます! 砧保育園のどのようなところに魅力を感じて入園を希望されたのかについてお聞かせいただき、今後の参考にしたいと考えています。今年度については第一回目ということで、全家庭対象とさせていただきます、次年度以降は新入園家庭のみ対象とさせていただきます見通しです。後日コドモンにて配信させていただきますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

また、今年度は3年に一度の「第三者評価アンケート受審」の年でもあります。こちらは7月中旬を予定しており、通われている中で感じていらっしゃる事が中心の内容となります。併せてよろしく願いいたします。

<7月の予定>※状況により変更あり。

- 4日(木) きぬたん(赤ちゃん広場)
- 5～6日(金～土) お泊り保育(らいおん)
- 10日(水) 異文化交流
- 11日(木) 夕涼み会
- 17日(水) 避難訓練 誕生会
- 18日(木) きぬたん(水遊び)
- 19日(金) 防災講座
- 27～29日(土～月) 全国保育団体合同研究集会

〈テラス修繕計画中です!〉

テラスは元々公立保育園だった時にはコンクリートの床でした。「子どもたちに裸足で過ごせる自然な環境を」ということで、初代園長が木のテラスに変えてきた経過があります。

春や秋には心地よく、夏にはひんやりとし、冬にはほんのりあたたかい。そんな自然素材を使った木製テラスです。子どもたちもごろごろ日向ぼっこしていたり、虫を囲んでみんなで見合う場になっていたり、色んな思いに添えてくれる大切な空間となっています。

しかし、経年劣化により大分傷んでいます。今年度中に取替える必要がある部分は取替え、必要ない部分は研磨できれいにと計画しています。

また、近年雨風がテラスに吹き込むケースが増えてきています。送迎時保護者の皆さんにもご不便をおかけしており申し訳ございません。以前は1年に1～2度程度でしたが、これも温暖化の影響を受けているのでしょうか...

この状況を改善すべく、雨除けカーテンの工事も同時に検討しています。時期は秋以降となるかと思われますので、もうしばらくご不便をおかけしますが、どうぞよろしく願いいたします。